

資料レコードの貸出

こんにちは 前回のセッションではユーザーにアイテムを貸出する方法を学習しました

このチュートリアルでは、アイテム情報を表示する方法と

バーコードやアイテムレコードのないアイテムを貸出する方法を学習します

アイテムに関する追加情報が必要な場合は、常時表示されている検索バーを使用できます

ドロップダウンメニューで[物理的アイテム]が選択されていることを確認し

アイテムの具体的な情報がわかっている場合

検索索引メニューからさらに絞り込んで検索することができます

タイトルを入力し

虫眼鏡をクリックするか、キーボードのエンターキーを押してリポジトリを検索します

検索結果の各レコードで、[所蔵]ボタンをクリックすると

書誌レコードに添付されているすべての所蔵レコードが表示されます

また、行アクションツールを開くと次のような追加のオプションが表示されます

アイテム – 同じ書誌レコードに添付されているアイテムのコピーのリストを表示します

それぞれにアクセスして追加のインベントリー情報を入手できます

[物理的インベントリーオペレーター]の役割を持っている場合は、次を選択することもできます

ワークオーダー - アイテムのワークオーダーを作成します

リクエスト - アイテムの所蔵または移動リクエストを送信します

ここには、[アイテムの編集]への追加ボタンもあります

これにより、アイテムレコードを開いて変更を加えることができます

アイテムを所在不明としてマークする必要がある場合は、[アイテム]をクリックし

行アクションツールを開き、[所在不明を切り替え]を選択します

タイトルのリストに戻しましょう

各レコードリストで[その他詳細]をクリックすると

最終貸出日や現在のリクエストなど

アイテムに関する充実した情報を見ることができます

ユーザーがカウンターに来て、アイテムを貸出したいものの

バーコードがない場合があります

アイテムを貸出するには、まず[フルフィルメント] + [ユーザーサービスの管理]に移動し

ユーザーバーコードを入力し、[実行]をクリックします

次に、[アイテムのバーコードをスキャン]フィールドのリストアイコンをクリックします

そして物理的アイテム検索を実行します

アイテムの情報を入力し、虫眼鏡をクリックしてリポジトリを検索します

リストされている各レコードには、次のような有用な情報が含まれています

図書館と配架場所、アイテムが所定の場所にはない場合は、現在のステータス、プロセスタイプを示します

また、アイテムが現在発注中か、貸出中か、リクエストされているかを確認することもできます

正しいアイテムのレコード行をクリックするだけで選択できます

これで[アイテムのバーコードをスキャン]フィールドに正しいバーコードが入力されます

[OK]をクリックして、通常どおりアイテムを貸出します

貸出したいアイテムがあるのに、

バーコードをスキャンすると[アイテムが見つかりません]というエラーメッセージが表示されてしまうユーザーがいます

アイテムレコードを作成するには、[物理インベントリーオペレーター]の役割が必要です

再度バーコードを入力し、[OK]ではなく[アイテムの作成]をクリックします

ポップアップが表示されるので、既存の書誌レコードに新しいアイテムレコードを作成する場合は[既存]を、書誌レコード、所蔵レコード

アイテムレコードの新しいセットを作成する場合は[新規]を選択します。

今回は[既存]を選択し、[選択]をクリックしましょう

次に、[タイトル]フィールドにアイテムのタイトルを入力するか

[リスト]アイコンをクリックして、リポジトリ内からすべてのタイトルを検索できます

タイトルを選択したら

[配架場所]ドロップダウンメニューから正しい図書館と配架場所を選択します

バーコードフィールドには、入力した番号があらかじめ入力されています

説明、資料タイプ、アイテムポリシーを追加することができますが、これらのフィールドは必須ではありません

完了したら、[保存]をクリックします

書誌レコードがないアイテムをスキャンする場合

[アイテムの作成]をクリックした後、[所蔵タイプの選択]で表示されるポップアップで[新規]を選択します

引用タイプ（書籍/記事）を選択する画面が表示されます

[選択]をクリックすると、簡易的なインベントリーテンプレートが開きます

フォームに必要なフィールドは、タイトル

バーコードには、最初に入力した番号

図書館と配架場所です

必要に応じて、図書館のポリシーに基づいて、その他の項目を記入してください

[検出から非公開にする]チェックボックスを選択することもできます

レコードをPrimo/Summonに公開したくない場合に有効です

完了したら、[保存]をクリックします

これで、新しいアイテムレコードが作成され、アイテムをユーザーに貸出することができます

この裏では、アイテムが貸出された際に、技術サービスに送るためのワークオーダーが

作成されています